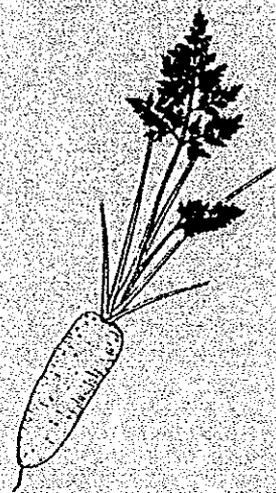


第8章 結 論 · 提 言



第8章 結 論・提 言

8.1 結 論

北京市人民政府は、同市の野菜の周年安定供給を重要施策として推進している。しかし、活動の中核となる北京蔬菜研究センターの研究機材・設備の整備は不十分であり、研究水準の向上が望めず、この目標に対処することが困難であった。しかし、本整備計画の実施により、研究センターの野菜生産、流通に関する研究、普及機能が十分に発揮できる体制が確立することになり、研究水準の向上が図られる。

以上のように、本整備計画は、北京市人民政府が重要視している北京市の野菜の高位安定生産、品質の向上等に関する技術の研究開発に不可欠なものであり、中国側の施策、予算措置等も十分に対応できる体制にある。従って、北京蔬菜研究センター整備計画は、日本国政府の無償資金協力の対象としてふさわしく、早期の実施が望まれる。

また、本無償資金協力事業をより有効かつ効果的に推移させるためには、整備機材・設備の維持管理技術に関する指導および試験研究に関する技術協力が必要であるといえる。

8.2 提 言

本整備計画の早急な実現と、完了後、所期の目的が十分に達成できるように、以下の点を提言する。

a. 人材の育成および運営体制の整備

研究センターを効果的に機能させるために、人員の配置計画に基づき人材を育成し、責任者を決め役割分担を明確にし、運営体制を整備すること。

b. 配置要員の研修計画の実施

整備する研究機材・設備は、性能的に高い水準にあり、操作に必要な新技術の習得は不可欠であり、オペレーターおよび研究者の研修を行なうこと。

c. 機材・設備の設置環境の整備

機材・設備の設置に際しては、必要となる施設の改造工事はもとより、機材・設備の機能が十分発揮できるように、温度、湿度等の設置環境を整備すること。

d. 機材・設備の移設時の配慮

計画中の施設が完成し、仮設した機材を移設する必要がある場合は、十分な予算措置を取り、メーカーの専門技術者に相談して、移設による機能、精度の低下を極力少なくするように、十分な配慮を行うこと。

e. 機材・設備の維持管理体制の確立

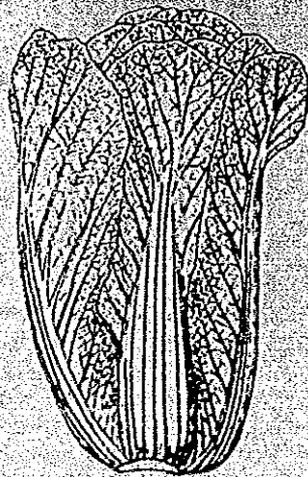
機材・設備の維持管理は、専属の技術者を配置し、その機能が十分に発揮できるような体制を確立すること。また、維持管理に必要な予算を確保すること。

f. 技術協力の実施

本整備計画が有効かつ効果的に実施され、北京蔬菜研究センターの活動の基盤が確立された後、更に研究水準の向上のためにプロジェクト方式技術協力が望まれる。

付 属 資 料

1. 調査団員の構成 1
2. 調査日程 2
3. 面会者リスト 4
4. 協議議事録 7
5. 要請機材・設備リスト 37
6. 収集資料リスト 90



1. 調査団の構成

(1) 基本設計調査

担 当 分 野	氏 名	所 属
団 長 / 総 括	金井盛一	国際協力事業団無償資金協力計画調査部 基本設計調査第一課課長代理
蔬 菜 研 究 業務主任技術者/研究機材計画	葭原敏夫	農林水産省野菜試験場企画連絡室企画科長
研究設備計画	中西三郎	パシフィックコンサルタンツインターナショナル
研究設備計画	阿部 勇	〃
蔬菜生産流通計画	野崎 裕	〃
機 械 設 備	幕田一郎	〃
中国語通訳	大原正裕	〃
積算(国内作業)	岸 篤	〃

(2) ドラフトファイナルレポート説明調査

担 当 分 野	氏 名	所 属
団 長 / 総 括	菊池雅夫	農林水産省経済局国際部国際協力課 海外技術協力室長
業務主任技術者/研究機材計画	中西三郎	パシフィックコンサルタンツインターナショナル
研究設備計画	阿部 勇	〃
機 械 設 備	幕田一郎	〃
中国語通訳	大原正裕	〃

2. 調査日程

(1) 基本設計調査

日順	月 日	曜 日	調 査 内 容
1	11/19	水	調査団員5名北京着 (JL781) JICA事務所表敬
2	20	木	日本国大使館表敬 研究センターにインセプション・レポート提出および 説明
3	21	金	インセプション・レポートに関する協議
4	22	土	センター計画の背景および内容の把握
5	23	日	資料整理および団内打合せ
6	24	月	要請資機材に関する協議 既存施設調査
7	25	火	既存施設調査
8	26	水	金井団長および藤原団員北京着 (JL781) 中国農業科学院国家作物種子庫および土壌肥料研究所 視察 団内打合せ
9	27	木	日本国大使館およびJICA事務所調査内容説明 要請資機材の整理 インフラ関連調査
10	28	金	対外経済貿易部表敬協議 全体会議
11	29	土	野菜生産地および市場調査 関連機関および施設視察
12	30	日	資料整理および団内打合せ
13	12/1	月	要請資機材の整理 維持管理および現有機材調査
14	2	火	維持管理および現有機材調査
15	3	水	協議議事録案作成 建築関連調査
16	4	木	要請資機材の整理および協議議事録作成 日本国大使館調査結果説明 協議議事録署名

日順	月 日	曜 日	調 査 内 容
17	5	金	JICA事務所調査結果説明 金井団長および葭原団員帰国（JL782） 団内打合せ
18	6	土	流通調査 インフラ関連調査
19	7	日	資料整理および団内打合せ
20	8	月	機材維持管理関連調査
21	9	火	機材・設備据付け関連調査
22	10	水	中国側負担工事の確認 農業生産流通政策の確認 全体会議
23	11	木	日本国大使館およびJICA事務所調査結果説明 団内打合せ
24	12	金	調査団員5名帰国（JL782）

(2) ドラフトファイナルレポート説明調査

日順	月 日	曜 日	調 査 内 容
1	2/8	日	北京着（CA918）
2	9	月	日本国大使館およびJICA事務所表敬、打合せ 対外経済貿易部および北京市農林科学院表敬、ドラフト ファイナルレポート提出
3	10	火	国家科学技術委員会表敬、ドラフトファイナルレポート 説明、協議
4	11	水	ドラフトファイナルレポート説明、協議
5	12	木	ドラフトファイナルレポート説明、協議
6	13	金	ドラフトファイナルレポート説明、協議 協議議事録作成、署名
7	14	土	日本国大使館およびJICA事務所調査結果説明
8	15	日	菊池団長帰国（JL782） 資料整理
9	16	月	補足調査
10	17	火	調査団員4名帰国（JL782）

3. 面会者リスト

北京市人民政府

黄	超	副市長
王	憲	顧問委员会主任

北京市人民政府農林弁公室

范	毓	楊	副主任兼北京市農林科学院院長
梁	繼	昕	副主任
何		劍	生産処

北京市科学技術委員会

李	棠	儀	副主任
劉	敬	華	国際科技交流合作処副処長

北京市对外經濟貿易委員会

張		明	副主任
高		森	副主任兼中国国際貿易促進委員会北京市分会会長
孟	憲	振	官 員

北京市計画委員会

曹	学	垠	副主任
---	---	---	-----

北京市農業局

李	耀	華	農業技術推广站高級農芸師
楊	銘	華	蔬菜処処長

北京市農林科学院

陳		杭	副院長兼北京蔬菜研究センター主任
单	明	端	弁公室副主任
胡	曉	光	弁公室主任助理

北京蔬菜研究センター

馬	士	新	副主任
徐	順	儂	副主任兼北京市農林科学院蔬菜研究所所長
鄒	以	德	計畫主任助理
王	永	健	計畫主任助理
宗	汝	靜	專門家
賈	翠	莹	專門家
師	惠	芬	專門家
胡	毅	成	專門家
孔	祥	輝	專門家
陳	殿	奎	專門家
徐	家	炳	專門家
方	秀	穎	專門家
孫	学	福	專門家
程	美	仁	專門家
喬		平	專門家
樂		寧	專門家
張	普	岩	秘書
黃	述	潔	秘書

中華人民共和國對外經濟貿易部

葉	元	格	國際組織連絡局副局長
王	治	業	中国國際經濟技術交流センター主任
龍			中国國際經濟技術交流センター主任
劉	文	炸	國際連絡局副處長
楊	鉄	林	國際連絡局官員

中華人民共和國国家科学技術委員会

黃	霖	生	國際科技合作局副處長
劉	永	翔	國際科技合作局局長助理

中国農業科学院蔬菜研究所

王 德 攢 副所長
翁 祖 信 副研究員

中国技術進口總公司北京市公司

石 堅 副總經理
李 宝 利 第四業務部經理助理

中国肉類食品綜合研究センター

王 英 若 所 長
劉 国 慶 副所長

通 訳

張 倍 北京市企業管理協會培訓連絡部部長
王 明 臻 中国人民解放軍海軍工程設計研究局

在中華人民共和国日本国大使館

速見 統一 参 事
大久保寿夫 一等書記官
田尻 和宏 二等書記官

国際協力事業団中華人民共和国事務所

八島 継男 所 長
木村 信雄 副所長

4. 協議議事録

(1) 基本設計調査

中華人民共和国北京蔬菜センター整備計画基本設計調査

にかかると協議議事録

北京蔬菜研究センター整備計画（以下「本計画」と略称する。）にかかると中華人民共和国政府よりの無償資金協力の要請に基づき、日本国政府は、標記プロジェクトにかかると基本設計調査の実施を決定した。

国際協力事業団は、当事業団無償資金協力計画調査部基本設計調査第一課課長代理金井 盛一を団長とする調査団を1986年11月19日から12月12日まで中華人民共和国に派遣した。

調査団は、北京市農林科学院副院長 陳 抗氏を団長とする中国側本計画代表団と一連の協議を行うとともに、北京蔬菜研究センターならびに関連施設の調査および資料収集を実施した。

本協議議事録は、双方が合意に達した別添協議結果をそれぞれ自国政府に報告することを、下記2名の署名により確認するものである。

1986年12月4日

於 北京

日本国国際協力事業団
北京蔬菜研究センター整備計画
基本設計調査団長

金井 盛一

金井 盛一

中華人民共和国
北京蔬菜研究センター整備計画
代表団長

陳 抗

陳 抗

協議の結果、本無償資金協力は1988年3月に完了する。その対象範囲は現存および1988年1月までに建築または増設される建築物並びに圃場に配置あるいは保管される資機材および建築物・圃場にかかる資材とする。その内容は以下のとおりである。

1. 資機材

- (1) 今回の現地調査で研究上必要と認められた資機材は別添資料-1のとおりである。
- (2) 協議の結果、優先度によってA（直ちに必要と思われる資機材）、B（近い将来必要と思われる資機材）、C（その他）に分類した。

2. 種子庫

- (1) 中国側は改修計画の作成に日本人技術者の派遣を要請し、調査団は検討することを約束した。
- (2) 中国側が設計・施工し、日本側は改修に必要な資機材を供与する。

3. 建築予定および建築中の建築物

調査団は中国側が下記の建築物について1988年1月までに竣工する予定であることを確認した。

- (1) 中央実験棟 1棟（栄養分析実験室、研修室等）
- (2) 収穫後生理・生化学実験棟および附随する新設プレハブ 1棟
- (3) ワークショップ 1棟
- (4) 種子加工場 1棟
- (5) 温室に附随する調査室およびボイラー室 各1棟
- (6) 農機具格納庫 1棟
- (7) 車庫の増設

4. 新設実験圃場

調査団は中国側が6ha（90畝）の実験圃場（土地取得済み）を当センター南側に1988年1月までに増設予定であることを確認した。

5. 調査団は中国技術進口總公司北京市公司在北京蔬菜研究センターの委託をうけて本無償資金協力にかかる資機材調達に関する手続の責任主体となることを確認した。

C 

关于中华人民共和国北京蔬菜研究中心

整備计划基本设计调查

根据中华人民共和国政府就有关蔬菜研究中心计划（以下略称“本计划”）提出的无偿援助的要求，日本国政府决定进行有关无偿援助项目的基本设计调查。

国际协力事业团，于1986年11月19日至12月12日向中华人民共和国派遣了以该事业团无偿资金协力计划调查部基本设计调查第一课课长代理金井盛一为团长的调查团。

调查团同以北京市农林科学院副院长陈杭为团长的中国方面代表团，在进行一系列协议的同时，对北京蔬菜研究中心及有关的设施也进行了调查和资料的收集。

本会谈纪要将就双方达成一致意见的会谈结果向本国政府报告，并根据双方签字加以确认。

中华人民共和国
北京蔬菜研究中心
整備计划代表团
团长

陈杭

日本国国际协力事业团
北京蔬菜研究中心项目
整備计划基本设计调查团
团长

金井盛一

一九八六年十二月四日于北京

会谈结果，1988年3月完成本无偿资金合作，其对象范围是，现存及1988年1月前建设完成或增设的建筑物、实验场内安装或使用的仪器、设备、材料，以及与建筑物、实验场有关的仪器、设备、材料。其内容如下：

1. 仪器、设备、材料：

(1) 此次实地调查中认为研究上所必需的仪器、设备、材料，如附件一。

(2) 会谈结果，根据优先度分为：A（认为当前所必需的仪器、设备、材料），B（认为不远将来所必需的仪器、设备、材料），C（其它）。

2. 种子库：

(1) 中国方面要求在制定改造计划方面由日本方面派遣技术人员进行指导。日本方面同意研究派遣技术人员。

(2) 中国方面负责设计、施工。日本方面提供改造所需仪器、设备、材料。

3. 计划完成及建设中的建筑物：

调查团确认了中国方面将于1988年1月前竣工下列建筑物。

(1) 中心实验室 1栋（营养分析实验室、研修室等）。

(2) 采后生理生化实验室及附属新建组装房1栋。

18 C

- (3) 修理车间 1 栋。
- (4) 种子加工厂 1 栋。
- (5) 附属于温室的调查室及锅炉房各 1 栋。
- (6) 农机具库 1 栋。
- (7) 车库增建改造。
- 4 新建实验场。

调查团确认中国方面予定于 1988 年 1 月以前在该中心南侧增建 6 公顷 (90 亩) 实验场 (土地已购买)。

5. 调查团确认中国技术进口总公司北京市公司接受北京蔬菜研究中心委托, 为本无偿资金合作的器材采购有关事宜的责任主体。

北京蔬菜研究中心和海军工程设计研究局以及国际协力事业团基本设计调查团三者之间于1986年12月10日协议结果，确认了以下内容：

1. 北京蔬菜研究中心向北京市规划局申请《建筑设计条件》于1986年11月底已得到该项批准。

2. 北京蔬菜研究中心委托海军工程设计研究局，进行新建建筑物的设计，北京蔬菜研究中心和海军工程设计研究局之间正式合同，预定在1986年12月中签订。

3. 设计日程安排如下：

A) 1987年3月完成本方案设计。

B) 1987年6月完成本施工设计。

C) 工程在施工设计完成后，进行招标选定施工单位，尽早完成本工程建设。

中华人民共和国
北京蔬菜研究中心
项目代表团
团长

海军工程设计研究局
代表

何福南

陈杭

国际协力事业团
北京蔬菜研究中心项目
基本设计调查团
业务主任技术者
中西三郎

中西三郎

和 文 訳

北京蔬菜研究センター、海軍工程設計研究局および国際協力事業団 基本設計調査団の三者間、1986年12月10日に協議された結果、下記の内容を確認した。

1. 北京蔬菜研究センターは、北京市規制局に「建築設計条件通知」を申請し、1986年11月末に、既に許可された。
2. 北京蔬菜研究センターは、海軍工程設計研究局に、既に新設予定の建築物の設計を委託した。北京蔬菜研究センターと海軍工程設計研究局との間の正式な契約は、1986年12月中に終了する予定である。
3. 設計の日程は下記のとおりである。
 - A) 本方案設計は、1987年3月に完成する。
 - B) 本詳細設計は、1987年6月に完成する。
 - C) 施工は、詳細設計終了後に入札により、建設業者を選定し、速かに建設工事を完成させる。

中華人民共和国
北京蔬菜研究センター
計 画 代 表 団
団 長

陳 杭

海軍工程設計研究局

何 福 南

国際協力事業団
北京蔬菜研究センター計画
基本設計調査団
業務主任技術者
中西 三郎

关于北京蔬菜研究中心 试验楼竣工期问题的报告

北京市计划委员会

日本国际协力事业团于1986年11月19日至12月2日派遣了代表团，就有关日本无偿援助项目的事宜来我院北京蔬菜研究中心进行了基本设计调查并与我院以付院長陈抗同志为团长的代表团进行了会谈，就项目的内容和起止年限达成了协议。按照项目的进程，要求我方保证在1988年1月以前完成试验楼等建筑物的建设。按照惯例，日本代表团要求市政府主管部门对建筑物竣工日期担保。特此报告，敬请批示。



北京市农林



附件：北京蔬菜研究中心项目
基本设计调查会谈纪要

和 文 訳

北京蔬菜研究センター
試験棟竣工期間に係る報告

北京市計画委員会

日本国国際協力事業団は、1986年11月19日から12月12日まで、代表団を派遣し、日本国無償援助計画の事項について、当北京蔬菜研究センターで基本設計調査を実施し、並びに当院副院長 陳 杭 女史を団長とする代表団との会議を行い、当該計画の内容および開始、完成の期限について協議を行った。計画の進展に伴い、当院に対し1988年1月までに、試験棟等の建築物の建設を完成することの保証を求めた。慣習に従って、日本代表団は、市政府主管部門にも、建築物の竣工期間の保証を要求し、ここに報告まで、御指示お願い申し上げます。

同 意

北京市計画委員会 印

1986.12.12

北京市農林科学院 印

1986.12.11

付属文書 :

北京蔬菜研究センター計画
基本設計調査協議議事録

(2) ドラフトファイナルレポート説明調査

協 議 議 事 録

日本国国際協力事業団は、中華人民共和国對外経済貿易部の招請に応じ、北京蔬菜研究センター整備計画に関する基本設計調査報告書草案を提出・説明するため、農林水産省経済局国際部国際協力課海外技術協力室長 菊池 雅夫氏を団長とする 報告書草案説明調査団を1987年 2月 8日から 2月17日迄中華人民共和国に派遣した。

調査団は、北京蔬菜研究センター主任 陳 杭氏を団長とする北京市農林科学院、中華人民共和国對外経済貿易部北京市對外経済貿易委員会、中国技術輸出入總公司北京市公司から成る代表団および本計画関係者に対し、報告書草案の内容を説明し、それについて十分な意見の交換を行なった。日・中双方が協議、確認した主要な点は以下のとおりである。

1. 中国側は、日本側の提出した報告書草案の内容について基本的に了承した。また、今回協議の結果、変更することが妥当であるとされた諸点については、最終報告書で訂正されることを、日・中双方は確認した。
2. 日・中双方は、1986年 8月 8日および 12月 4日付協議議事録により確認され、報告書草案に記載されている中国側の措置をはじめ日本の無償資金協力の制度について、中国側が十分理解していることを確認した。
3. 最終報告書（日本文 10部）は、1987年 4月末までに、中国政府に提出される。

この協議議事録は、双方代表の署名により確認されるものとする。

1987年 2月13日

於 北京

日本国国際協力事業団
北京蔬菜研究センター整備
計画調査団長

菊池雅夫

菊池雅夫

中華人民共和国
北京蔬菜研究センター計画
代表団長

陳杭

陳杭

协议记录

日本国国际协力事业团应中华人民共和国对外经济贸易部的邀请，为了提交并说明有关蔬菜研究中心整备计划的基本设计调查报告书草案，派遣了以日本农林水产省经济局国际协力课海外技术协力室室长菊池雄夫为团长的报告书草案说明调查团于1987年2月8日至2月17日期间访问了中华人民共和国。

调查团向以北京蔬菜研究中心主任陈杭为团长的北京市农林科学院、中华人民共和国对外经济贸易部、北京市对外经济贸易委员会、中国技术进出口总公司北京市分公司所组成的代表团以及本计划的有关人员，就报告书草案内容进行了说明，并对此充分地交换了意见。中日双方协议、确认的主要事项如下：

1. 中国方面对日本方面所提出的有关报告书草案内容基本同意。另这次协议结果，认为有必要进行更改之处，将在最终报告书中予以订正。对此日中双方取得了一致意见。

2. 中、日双方确认了由1986年8月8日以及12月4日的议事记录所确认并载入报告书中的中国方面的措施与日本无偿资金援助制度，对此中国方面表示充分理解。

3. 最终报告书（日文版10份）将于1987年4月底前提

交给中国政府。

本协议记录，由双方代表署名、确认。

中华人民共和国
北京蔬菜研究中心计划
代表团团长

陈 航

日 本 国
国际协力事业团
调查团团长

菊池 雅夫

一九八七年二月十三日

北京蔬菜研究センター整備計画基本設計調査
報告書ドラフトの主要変更事項等に関する確認

日・中両国代表団は標記整備計画に係る基本設計調査報告書のドラフトに関し、協議した結果、下記の通り主要事項について変更又は訂正することについて、意見の一致をみたことを確認する。

1. 温室について

ドラフトにおいて、日本側は本研究センターの研究の現状、及び将来の研究の方向等を勘案し、 $1,807\text{m}^2$ の新設を計画したが中国側は育種関係の重要性から耐病性検定育種用 200m^2 （計画のNO2相当）、導入野菜遺伝資源評価検定用 400m^2 （計画のNO6B相当）及び野菜原原種系統増殖用 600m^2 （計画のNO6B相当）の追加新設を強く要望し、協議した結果、温室の熱源用石炭ボイラーを中国側の経費負担により整備することを条件に、追加新設することとし、温室の新設総面積は約 $3,000\text{m}^2$ とする。

2. ビニールハウスについて

ドラフトにおいて日本側は、温室の整備、試験圃場のかんがい施設の整備等を優先的に整備することとし、ビニールハウス（中国側要望 $7,000\text{m}^2$ ）の整備を対象外としたが、中国側は、野菜の施設栽培技術体系確立のための試験研究実施の必要性から、最低 $2,000\text{m}^2$ の整備を強く要望し、協議した結果、試験圃場のかんがい施設の設備は、近く実施が予定されているプロジェクト方式技術協力との関連を踏まえ整備することとし、本整備計画では、温室及び試験圃場への給水用ポンプ（2基）のみを整備し、それ以外の資機材は整備対象外として取扱うことを条件に $2,000\text{m}^2$ を限度に整備する。

3. 研究用機材及び設備資機材整備計画について

別表の通り変更する。

4. 種子庫について

中国側は、日本側が提示した改造計画につき基本的に了解した。更に中国側は、種子庫の改造に万全を期するため、工事前に技術情報の交換を行いたい旨要望し、日本側はこれを了解した。

5. その他

中国側は本整備計画が、1986年8月に実施された事前調査の結果、プロジェクト方式技術協力と一体的に実施されることとなった経緯を踏まえ、更には本研究センターの研究機能及び研究水準を総合的に向上、強化する観点から、プロジェクト方式技術協力の、早期（1987年中）実施を強く要望すると共に、そのための事前調査団を3月中に派遣されることを要請した。これに対し、日本側代表団は、中国側の要望の趣旨を関係機関に伝達する旨述べた。

有关北京蔬菜研究中心整备计划基本设计调查 报告书草案的主要变更事项确认方案

日中两国代表团，关于整备计划基本设计调查报告书草案，进行协商的结果如下述主要事宜。对于变更及其修改达成一致意见并加以确认。

1. 关于温室

日方在草案中，考虑到本研究中心的研究^现状况及将来的研究方向，计划新建温室为 1807m^2 。但是，中方出于育种方面的重要性，有其强烈的希望，追加耐病性检测育种温室 200m^2 （相当于计划中的No. 2）引进蔬菜遗传资源评估检测温室 400m^2 （相当于计划中的No. 6B）以及蔬菜种系统增殖用温室 600m^2 （相当于计划中的No. 6B）。其协议结果，温室^用的热源煤炭锅炉由中国方面的经费负担，以此为整备计划的条件，追加新建温室总面积约为 3000m^2 。

2. 关于塑料棚

日方在草案中，是将温室的整備、試驗圃場灌溉施設の整備等，优先考虑到整備计划，~~而~~^{而未将}中方希望的^{7000 m²的}塑料棚列为整備的对象，但中方为了确立蔬菜的栽培技术~~系~~^出系统，出于试验研究实施的必要性，强烈要求最低要准备2000 m²的塑料棚，其协议结果，是将試驗圃場的灌溉施設，放到最近子定要实施的技术合作项目，本整備计划^只提供温室及向試驗圃場给水用的泵(2台)除此以外的器材在~~在~~此次整備对象以外，以此为条件，提供塑料棚2000 m²为限。

3. 关于研究用^四器材及设备的整備计划

見附頁變更。(※号为第一期整備子定器材及设备)

4. 种子库

中国方面对日本方面所提出的改造计划基本理解。中国方面为了更好地完善种子库的改建,希望在施工前进行技术情报交流,日本方面对此表示理解。

5. 其他

中方将遵照 1986 年 8 月事前调查团实施的结论,即本整备计划和技术协作一起实施的方针,特别是为了总体上要提高本研究中心的研究能力和研究水平,出于强化的观点,中方强烈要求技协项目能够尽早实施(1987年中),与此同时,特邀请技协项目的事前调查团能够在 3 月中派出。日方代表团对此将向有关部门转达中

(1374)

方的要求宗旨。

以上

(別表) 第1期分資材材リスト

資材材 番号	資材材名		数量	設置場所
	中文名	和文名		
	育種実験室	育種研究部門		
1-1	免疫酶标仪	ELISA	1	既設温室付属調査室
1-2	冷凍切片機(滑走式)	クリオスタット	1	既設温室付属調査室
1-3	电泳装置	電気泳動装置	1	既設温室付属調査室
1-4	超声波細胞破碎器	超音波細胞破碎器	1	既設温室付属調査室
1-5	高速冷凍离心机	高速冷凍遠心分離器	1	既設温室付属調査室
1-6	低速冷凍离心机	低速冷凍遠心分離器	1	既設温室付属調査室
1-7	毒気通风櫃	ドラフトチャンバー	1	既設温室付属調査室
1-8	手持式電動噴霧器	噴霧器	1	"
	種子生理実験室	種子研究部門		
1-9	冷却式微量高速离心机	冷却微量用高速遠心分離機	1	科研棟
1-10	NK式培養箱	培養箱	2	科研棟
1-11	溶氧測定儀	酸素測定器	1	科研棟
1-12	オートマチック浸透圧計	自動浸透圧系	1	科研棟
1-13	全自動ATP連続測定装置	全自動ATP連続測定装置	1	科研棟
1-14	迅速脂肪抽出装置	迅速脂肪抽出装置	1	科研棟
1-15	毒気通风櫃	ドラフトチャンバー	1	科研棟
1-16	発芽試験装置	発芽試験装置	1	種子実験室
1-17	発芽能力測定器	バイタスコ-70	1	種子実験室
1-18	真空種子播種数粒器	真空種子読取器	1	種子実験室
1-19	細種子数粒器	微細種子読取器	1	種子実験室
1-20	空気型種子篩選機	スクリーン型エクリーター	1	種子実験室
1-21	微量微小種子精選機	微量微小種子精選機	1	種子実験室
1-22	常温種子乾燥箱	常温種子乾燥箱	1	種子実験室
1-23	人工気候箱	グロースキャビネット	1	種子実験室

資材 番号	資材名		数量	設置場所
	中文名	和文名		
	米后生理生化、示範室	收穫後貯蔵研究部門		
1-24	裝配式控温冷蔵庫	7°以下冷蔵庫	8	收穫後生理生化 実験室
1-25	液氣気化装置	液体窒素気化装置	1	"
1-26	小型調温調湿箱	小型温湿度調節装置	4	"
1-27	30点温湿度測定儀	温湿度測定器 30点	3	"
1-28	10点温湿度測定儀	温湿度測定器 10点	3	"
1-29	1点温湿度測定儀	温湿度測定器 1点	3	"
1-30	高速冷凍离心机	高速冷凍遠心分離器	1	"
1-31	超声波細胞破碎器	超音波細胞破碎器	1	"
1-32	果色測定儀	色差計	1	"
1-33	中央試験台	中央実験台	3	"
1-34	毒気通風櫃	ドラフトチェンバー	1	"
1-35	強制空預冷庫装置	予冷コンテナ	1	
1-36	蔬菜速凍成套設備	高速冷凍装置	1	收穫後貯蔵モデル 実験室
1-37	数字式電子秤	デジタル台秤	1	"
1-38	数字式電子秤	デジタル台秤	1	"
1-39	数字式電子秤	デジタル台秤	1	"
1-40	冷蔵庫	冷蔵庫	1	庫
1-41	保温庫	保冷庫	1	"
1-42	电瓶車	フォークリフト	1	"
	栽培実験室	栽培研究部門		
1-43	自動滴定装置	自動滴定装置	1	科研棟
1-44	密閉式超声波組織破碎器	密閉式超音波組織破碎器	1	"
1-45	人工气候箱	グロースキャビネット	4	"

資材 番号	資 材 名		数 量	設置場所
	中 文 名	和 文 名		
	品質分析中心實驗室	品質評価研究部門		
1-46	PH計	PHメータ	4	科研棟(中央実験棟)
1-47	無塵乾燥箱	無塵恒温器A	2	"
1-48	無塵乾燥箱	無塵恒温器B	1	"
1-49	無塵乾燥箱	無塵恒温器C	1	"
1-50	無塵乾燥箱	無塵恒温器D	1	"
1-51	低温冰箱	冷凍庫	4	"
1-52	電子天平	電子天秤A	2	"
1-53	電子天平	電子天秤B	1	"
1-54	電子天平	電子天秤C	1	"
1-55	電子天平	電子天秤D	1	"
1-56	气相色谱儀	ガスクロマトグラフ	1	"
1-57	薄層層析設備	薄層クロマトグラフ	1	"
1-58	自动纤维素分析仪	自動纖維素分析器	2	"
1-59	纤维测定仪	纖維測定器	2	"
1-60	自动滴定儀	自動滴定器	1	"
1-61	低速离心机	低速遠心分離器	3	"
1-62	冷凍乾燥機	冷凍乾燥機	2	"
1-63	中央実験台	中央実験台	10	中央実験棟
1-64	天平台	天秤台	2	中央実験棟
1-65	毒气通风櫃	ドラフトチャンバー	3	中央実験棟
1-66	空調機	空調器	6	中央実験棟
1-67	气体配管装置系統	特殊ガス配管資材(鉄管)	1式	中央実験棟
1-68	气体配管装置系統	特殊ガス配管資材(銅管)	1式	中央実験棟

資機材 番号	資機材名		数量	設置場所
	中文名	和文名		
	組織培養実験室	組織培養研究部門		
1-69	振動培養器	振とう培養器	1	科研棟
1-70	人工気候装置	グロースキャビネット	1	"
	試験場	圃場管理部門		
1-71	輪式拖拉機 50HP	1577- 輪式 50PS	1	農機具格納庫
1-72	輪式拖拉機 20HP	1577- 輪式 20PS	1	"
1-73	手扶步行拖拉機 7HP	1577- 步行型 7PS	2	"
1-74	手扶步行拖拉機 5HP	1577- 步行型 5PS	2	"
1-75	手扶步行拖拉機 3HP	1577- 步行型 3PS	2	"
1-76	双向犁 用于50HP	リバーシブルプラウ 50PS用	1	"
1-77	旋耕機 用于50HP	ロータリーハロー 50PS用	1	"
1-78	旋耕機 用于20HP	ロータリーハロー 20PS用	1	"
1-79	撒糞車	マニュアルスプレッダー	1	"
1-80	裝載機	70=トローター	1	"
1-81	拖車	ダンポトローラー	1	"
1-82	培土器 用于7HP	培土機 7PS用	2	"
1-83	培土器 用于5HP	培土機 5PS用	2	"
1-84	培土器 用于3HP	培土機 3PS用	2	"
1-85	中耕機 用于7HP	中耕機 7PS用	2	"
1-86	中耕機 用于5HP	中耕機 5PS用	2	"
1-87	中耕機 用于3HP	中耕機 3PS用	2	"
1-88	追肥機 用于7HP	施肥機 7PS用	2	"
1-89	追肥機 用于5HP	施肥機 5PS用	2	"
1-90	追肥機 用于3HP	施肥機 3PS用	2	"
1-91	机动喷雾机	動力噴霧器	1	"
1-92	机动喷雾机	動力噴霧器	3	"

資材 番号	資 材 名		数 量	設 置 場 所
	中 文 名	和 文 名		
		車 輛 部 門		
1-93	12座客車	マイクロバス(12人乗)	1	車庫
1-94	6座工具車	ライトバン(6人乗)	2	"
1-95	双排駕駛室載重車(1t)	トラック(1t)	1	"
		管 理 部 門		
1-96	万用橋測器	テスター	1	7-キングジョブ
			163	

才2期分資材材予定リスト

資材材 番号	資材材名		数量	設置場所
	中文名	和文名		
2-1	温室成套器材設備	温室用資材	1式	
2-2	種子庫成套器材設備	種子庫用資材	1式	
2-3	硬塑料膜大柵器材	ビニルハウス資材	1式	
2-4	潛水电泵成套器材	水中ポンプ	2	
2-5	等离子發射光譜分光儀	プラズマ発光分析装置	1	中央実験棟
2-6	近紅外分光光度計	近赤外分光光度計	1	中央実験棟
2-7	流动注射型分析儀	流動注射型分析器	1	中央実験棟
2-8	高效液相色譜儀	液体クロマトグラフ	1	中央実験棟
2-9	高效液相色譜儀	液体クロマトグラフ(標準型)	1	中央実験棟
2-10	原子吸收分光光度計	原子吸光分光光度計	1	中央実験棟
2-11	自動定氮儀	自動窒素分析器	1	中央実験棟
2-12	电泳装置	リザ-電気泳動装置	1	中央実験棟
2-13	脂肪提取器	脂肪抽出器	1	中央実験棟
2-14	高速冷凍离心机	高速冷凍离心分離機	1	中央実験棟
2-16	低温灰化炉	低温灰化炉	1	中央実験棟
2-16	四筛双风道风筛清选机	風選機	1	種子加工場

資材 番号	中文名		和文名	数量	設置場所
	中文名	和文名			
2-17	雷眼筒清选机	精選機		1	種子加工場
2-18	比重分选机	重力選別機		1	種子加工場
2-19	去石机	除石機		1	種子加工場
2-20	螺旋清选机	ラセン式精選機		1	種子加工場
2-21	药物处理机	薬物処理機		1	種子加工場
2-22	空气压缩机	エアコンプレッサー		1	種子加工場
2-23	計量装袋机	計量包装機		1	種子加工場
2-24	小型計量装袋机	小型計量包装機		1	種子加工場
2-25	手提缝袋机	携帯用封入機		1	種子加工場
2-26	小型多品种烘乾机	小型種子乾燥機		1	種子加工場
	喂料系統	搬送システム			
2-27		マジックローダー大型		2	種子加工場
	喂料系統	搬送システム			
2-28		マジックローダー中型		2	種子加工場
	輸送系統	輸送システム			
2-29		ベルトコンベア		2	種子加工場
	輸送系統	輸送システム			
2-30		アルミローラーコンベア		2	種子加工場

資材 番号	資材名		数量	設置場所
	中文名	和文名		
2-31	輸送系統	輸送システム コンテナー	10	種子加工場
2-32	輸送系統	輸送システム 手押車	3	種子加工場
2-33	輸送系統	輸送システム セボット式コンベア	3	種子加工場
2-34	电控系統	配電システム	1	種子加工場
2-35	防塵系統	防塵システム バックフィルター	2	種子加工場
2-36	防塵系統	防塵システム 工業用クリーナー	1	種子加工場
2-37	刷光機	ブラッシングマシン	1	種子加工場
2-38	小型種子除壳機	小型脱殻機	1	種子加工場
2-39	双色光电分选机	色差選別機	1	種子加工場
2-40	紫外可見光分光光度計	紫外可視分光光度計	1	中央実験棟
2-41	実験用真空預冷库成套装置	実験用真空予冷库	1	收穫後貯蔵 毛丸実験棟

資材 番号	資材名		数量	設置場所
	中文名	和文名		
2-42	薄膜收缩包装机	ビニール收缩包装机	1	收穫後貯蔵 モル実験棟
2-43	塑料薄膜制袋机	ビニール袋製造机	1	收穫後貯蔵 モル実験棟
2-44	自动制备蒸馏水装置	蒸馏水自动製造装置	4	中央実験棟 收穫後生理生物学 実験棟 科研棟 種子実験室
2-45	自动定氮仪	自动定氮分析器	1	科研棟
2-46	自动高温杀菌器	オートクレーブ	2	科研棟 既設温室調査室
2-47	低压液相色谱仪	低压液体クロマトグラフ	1	中央実験棟
2-48	超速离心机	超速遠心分離机	1	中央実験棟
2-49	塑料袋包装机	ビニール袋包装机	1	收穫後貯蔵 モル実験棟
2-50	自动分注稀释器	自动分注稀释器	1	中央実験棟
2-51	真空冷冻干燥机	冷冻乾燥机	1	種子実験室
2-52	高压消化器	高压消化器	2	中央実験棟
2-53	粉碎机	物研机	1	中央実験棟

省栽材 番号	資 材 名		数 量	設 置 場 所
	中 文 名	和 文 名		
2-54	組織搗碎机	組織物碎機	3	中央実験棟
2-55	稀釋分注器	稀釋分注器	4	科研棟 中央実験棟(2) 收穫後生理生化 実験棟
2-56	气体流速測定装置	气体流速測定システム	1	收穫後生理生化 実験棟
2-57	气相色谱仪	ガスクロマトグラフ	1	收穫後生理生化 実験棟
2-58	馬福炉	マツフル	2	中央実験棟
2-59	便携式叶绿素計	携帯式葉緑素メーター	3	科研棟(2) 收穫後生理生化 実験棟
2-60	生物显微鉗	生物顕微鏡	1	科研棟
2-61	实体显微鉗	实体顕微鏡	1	科研棟
2-62	低溫室	低 温 室	1	中央実験棟
2-63	水預冷成套装置	ハイドロクーラー	1	收穫後貯蔵 モデル実験棟
2-64	装配式控温冷蔵庫	プラグ冷蔵庫	2	收穫後貯蔵 モデル実験棟

資材材 番号	資材名		數量	設置場所
	中文名	和文名		
2-65	人工气候装置	グロスキヤビネット	10	新設温室調査室
2-66	低速冷凍离心机	低速冷凍离心机	1	中央実験棟
2-67	冷却水循環装置	冷却水循環装置	2	中央実験棟 新設温室調査室
			110	
第1期				
96			163	
第2期				
院				
67			110	
計				
163			273	